

大崎市民病院医療事故の公表について（包括的公表）

令和5年10月 1日～令和6年 3月31日に発生した医療事故は次のとおりです。

レベル3 bまたは4 aに該当する件数

3 b	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化，入院日数の延期，外来患者に入院，手術，骨折）	13件
4 a	永続的な障害や後遺症が残ったが，有意な機能障害や美容上の問題を伴わない	0件

このうち，他の医療機関の事故防止につながると考える事例を，下記のとおり掲載します。

No.	概要	原因	改善・対応策
1	1 本杖歩行の患者で，不眠のため21時にゾルピデム酒石酸塩錠を内服した。 夜間にトイレ歩行し，滑って膝をついた。	・不眠時予測指示としてゾルピデム酒石酸塩錠 5mg 1錠を使用した。 ・1 本杖歩行患者へのゾルピデム酒石酸塩錠の副作用による転倒予測が，十分にされていなかった。	・病棟カンファレンス時に，「入院中の不眠への対応ガイドライン」について医師及び看護師で確認共有した。 ・予測指示を見直し，一部の予測指示に残っていた不眠時のゾルピデムの指示を変更した。